

松浦のくんち

10月から11月にかけて、無病息災と地域の発展・繁栄を願って、各地でくんち行事（各神社の秋の例大祭）が行われました（取材できたもののみを掲載）。

蛇踊りを披露 10月17日 姫神社

無病息災と豊漁・豊作を願う神事後、地区の住民約200人がご神体の「お旅所」までの約2キロを笛や太鼓を鳴らしゆっくりと練り歩きました。

また、御厨蛇踊り保存会による伝統芸能の蛇踊りが、御厨小学校を皮切りに同町内各所で披露され、集まった住民からは大きな拍手が起っていました。

御厨



福島

奉納相撲大会 10月28日 今山神社

浦安の舞の奉納やおくたり、奉納相撲大会などが行われました。

奉納相撲大会は、福島町相撲実行委員会主催で、同神社境内で開催されました。今大会には、市内外から小学生のわんぱく力士41人、中学や高校生、一般の力士20人が参加。個人・団体戦や学校対抗戦、抜き相撲で熱戦を繰り広げました。



流鏝馬を披露 10月26日 淀姫神社

県内で唯一伝わる「流鏝馬」は、当たった矢の本数などで来年の豊凶を占い、馬が巻き起こす風にあたりと無病息災、外れた矢を拾うと良縁に恵まれるといわれる、900年以上の歴史があるものです。

射手は、福田邦光さん（調川・上平尾、59）と中村嘉宏さん（平戸市、38）。烏帽子と符衣姿で、馬上から3か所の的を目掛けて18本の矢を放ち、15本命中。中川明宏宮司は「例年より当たったので、来年も豊作が期待できるでしょう」と話していました。

志佐





今福

飾りみこしの演舞 10月15日 今福神社

神事の後に地区の住民が、ご神体の「お旅所」までの約2^{キロ}を
笛や太鼓を鳴らしゆっくりと練り歩きました。

今福港近くの広場では、平戸神楽や獅子舞などが披露され、地
域の若者たちでつくる「今福常若隊^{とこわかたい}」による飾りみこしの演舞で
は、担ぎ手22人が「和一処（わーいっしょ）」の掛け声で飾りみ
こしを空に向かって放り投げると、集まった住民から大きな拍手
が起こっていました。

勇壮、漁船パレード 11月5日 羽黒神社

太鼓や笛の音に合わせ、みこしを担いだ大人たちが
隊列をつくって、羽黒神社から星鹿港までの約2^{キロ}を練
り歩きました。

みこしは星鹿港から漁船に積み込まれ、大漁旗で飾
り立てられた小型まき網漁船約20隻が隊列を組み、星
鹿港内を3周する勇壮な漁船パレードが行われました。



星鹿



調川

おのぼりに稚児行列 10月20日 天満神社

笛や太鼓を鳴らしながらのおくだりとおのぼりが行われ、
今年は稚児行列も行われました。

みこしを新調したお祝いと子どもの健やかな成長を願って
行われたもので、京都から取り寄せた衣装に身を包んだ子ど
もと保護者など約140人が行列をつくって歩きました。

笛や太鼓の音に誘われて地域の住民が道脇にお参りに出る
と、お神酒やもちが振る舞われました。

6カ所で平戸神楽を奉納 10月27日 若宮神社

昨年末に再建された新しい神社で初めてのくんち行事と
なりました。

神事後、荒塩の舞・猿田彦の舞などの平戸神楽が奉納さ
れ、集まった氏子約50人から拍手が送られていました。

また、新築を祝って、きれいに飾りなおされたみこしを担
いで6地区を周り、平戸神楽の扇の舞を奉納するなどしまし
た。



上志佐